

お互いが、特に犬が気持ちよく過ごせて、 笑顔で帰れるためのドッグランでのマナー

- 目次： ● 他の犬や自分の犬への触れ方や接し方について
- 遊び方について
 - オヤツについて
 - 周りへの配慮について

他の犬や自分の犬への触れ方や接し方について：

1. 他の犬を無断で触りません。必ず飼い主から許可を得てから触ります。
2. 愛犬が知らない人に撫でられたり、近づかれたりする等で怖がる、嫌がる、噛む可能性がある場合は他の飼い主に**早めに**、そして**確実に**その旨を伝えます。
3. 自分の愛犬が他の犬や飼い主さんに著しく迷惑を掛けないように努めます（マウント、飛びつき、嫌がっているのに追い掛け回す、など）。
4. 愛犬を守る為に、愛犬が何かを嫌がっている場合は、**遠慮せず**にその事を相手の飼い主に冷静にかつ的確に伝えます。例えば、「一旦リードを着けていただけますか。」、「怖がるので触らないようにお願いします。」など。
5. 自分の犬を一旦リードに繋いでほしいと頼まれたら、笑顔で協力します。
6. 犬にも相性があります。相性が合わないのに無理に仲良くさせようとしません。

遊び方について：

1. 自分の犬が遊んでいるつもりでも相手の犬は怖がっていることもあります。相手が嫌がっていないか、怖がっていないか、疲れていないか、などをしっかりと見ながら、必要な時は愛犬が楽しそうにしているとしても遊びを止めます。
2. 「ワンプロ」と言われるぶつかり合ったり、前足や時には口も使った遊びは犬達が数分程度で自ら止めない場合は飼い主が止めます。

「ワンプロ」は急激に激しくなったり、遊んでいる犬達だけではなく、周りの犬も巻き込んでのケンカや怪我の原因になりえます。

3. 最初から激しい「ワンプロ」は危険&禁止なので、やらせません。
4. 「追いかっこ」は追いかけたり、追いかけられたりと「鬼ごっこ」同様に「鬼役」が入れ替わるのが正常な遊びです。

常に自分の犬が「鬼役」の場合、相手の犬が本当に楽しんでいるのか、怖がっていないかをしっかりと見極めて、必要な時は自分の犬が楽しそうでも相手の犬のために遊びを止めます。

そして自分の犬が追いかけられ続けている場合は自分の犬が嫌がっていないか、怖がっていないかを確認して、必要なら追いかっこを止めてもらいます。

5. 双方が楽しんでいる時でも「追いかっこ」はやりすぎは禁物なので、犬達が自ら休憩を挟まない場合は1～3分、長くても5分程度で一旦休憩を入れます。

必要ならお互いリードを着けたり、クールダウンのためにドッグランの中をゆっくりと散歩したり、ベンチに座ったりします。

オヤツについて：

1. 愛犬にオヤツをあげる前に、周りの犬がオヤツでケンカをしないかを他の飼い主にしっかりと確認をします。
2. 自分の犬がオヤツをもらうときに他の犬が寄ってきたら怒る子ならそもそもオヤツをドッグランに持って入らない。
3. そしてオヤツ持ってるかもしれない他の飼い主に早めにそのことを伝える。
4. 自分の犬にオヤツを与える事はあっても、他の犬には無断で与えません。与える前に必ず許可をもらいます。

周りへの配慮について：

1. 一つのエリアから違うエリア（例えば小型犬エリア）に入る場合は先客がいたら、一声かけてから入ります。
2. 施設内では思わぬトラブルに発展しないよう、常に自分の犬および他の犬の動きに注意します。
3. 子供連れの時には、子供の動きには特に注意します。
4. 上の駐車場は「優先駐車場」のため、例えばシニア、足の悪いなどの犬や飼い主、妊婦さんなどに譲って下の駐車場を利用します。
5. ドッグランの周りの近隣住民の迷惑とならないよう、犬の鳴き声や人間同士の会話が騒音にならないよう十分に配慮します。